



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月27日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社  
 コード番号 4107 URL <https://www.isechem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 湊 崇静

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 菅 秀章

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 2021年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	14,798	18.4	1,953	25.3	1,937	27.3	1,286	39.0
2020年12月期第3四半期	12,493	1.3	1,559	2.9	1,522	3.8	925	9.5

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,417百万円 (47.3%) 2020年12月期第3四半期 962百万円 (0.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	252.25	
2020年12月期第3四半期	181.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	32,700	26,586	81.3
2020年12月期	31,069	25,680	82.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 26,586百万円 2020年12月期 25,680百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		40.00		50.00	90.00
2021年12月期		50.00			
2021年12月期(予想)				55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	18.6	2,500	14.4	2,450	14.6	1,550	15.4	304.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	5,135,135 株	2020年12月期	5,135,135 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2021年12月期3Q	36,676 株	2020年12月期	36,176 株
-------------	----------	-----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期3Q	5,098,729 株	2020年12月期3Q	5,099,287 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が今後与える影響等、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おください。詳細につきましては、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)における当社グループをとり巻く環境は、新型コロナウイルス感染症による影響からの中国経済のいち早い回復や米国経済の力強い回復、次いで欧州経済の持ち直しなど、世界経済が徐々に回復しつつあるものの、各国における新型コロナウイルス感染症の再拡大や感染力の強い変異ウイルスの急速な流行拡大の影響等により、世界経済の回復ペースに減速感が見られる状況となっております。新型コロナウイルス感染症の収束は依然として見通せず、経済への影響が長期化することも懸念され、先行き不透明な状況が継続しております。

新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループの事業活動および業績への影響につきましては、輸送機器関連素材に使用されるヨウ素の需要が当上半期の後半以降、回復しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比23億4千万円(18.4%)増の147億9千8百万円、損益面では、営業利益は同3億9千4百万円(25.3%)増の19億5千3百万円となりました。また、経常利益は同4億1千5百万円(27.3%)増の19億3千7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同3億6千万円(39.0%)増の12億8千6百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、前述の新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた一部用途向けヨウ素の需要が回復したこと、販売先における修繕実施の影響が前年同期ほど大きくなかったこと等によりヨウ素製品の販売数量が前年同期を上回り、加えてヨウ素の国際市況が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。営業利益につきましても上記要因により、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は前年同期比17億6千万円(17.6%)増の117億3千5百万円、営業利益は同2億3千2百万円(15.2%)増の17億6千4百万円となりました。

#### [金属化合物事業]

金属化合物事業では、主要製品である塩化ニッケルの販売数量が堅調に推移し、金属相場が上昇したことにより、売上高は前年同期を上回りました。営業利益につきましても上記要因により、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は前年同期比5億4千4百万円(21.6%)増の30億6千3百万円、営業利益は同1億6千1百万円(576.8%)増の1億8千9百万円となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの業績への影響につきましては、前述のとおり、影響を受けた一部用途向けヨウ素の需要は当上半期の後半以降、回復しました。回復以降、事業活動および業績への大きな影響はなく、全体として各事業とも業績は堅調に推移すると見込んでおります。そのため、2021年7月28日付「2021年12月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました2021年12月期通期の連結業績予想を変更していません。今後、業績への大きな影響が見込まれ、業績予想を修正する必要がある場合には、適時に公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,134	1,856
受取手形及び売掛金	4,203	5,673
商品及び製品	1,918	1,983
仕掛品	358	462
原材料及び貯蔵品	1,532	1,355
短期貸付金	6,588	6,393
その他	75	137
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,809	17,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,849	4,461
機械装置及び運搬具(純額)	3,974	4,931
土地	1,810	1,845
建設仮勘定	2,052	2,007
その他(純額)	244	242
有形固定資産合計	11,931	13,489
無形固定資産		
その他	526	541
無形固定資産合計	526	541
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
繰延税金資産	624	624
その他	120	127
投資その他の資産合計	802	808
固定資産合計	13,260	14,839
資産合計	31,069	32,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,420	2,162
短期借入金	600	600
未払金	1,030	817
未払法人税等	402	255
賞与引当金	135	274
役員賞与引当金	10	7
その他	212	342
流動負債合計	3,811	4,460
固定負債		
退職給付に係る負債	948	1,021
環境対策引当金	377	377
資産除去債務	224	233
その他	27	19
固定負債合計	1,577	1,652
負債合計	5,388	6,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	18,505	19,281
自己株式	△120	△122
株主資本合計	25,916	26,691
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△208	△95
退職給付に係る調整累計額	△26	△9
その他の包括利益累計額合計	△235	△104
純資産合計	25,680	26,586
負債純資産合計	31,069	32,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	12,493	14,798
売上原価	9,744	11,539
売上総利益	2,749	3,259
販売費及び一般管理費	1,190	1,305
営業利益	1,559	1,953
営業外収益		
受取利息	8	5
その他	1	0
営業外収益合計	9	5
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	46	20
営業外費用合計	47	21
経常利益	1,522	1,937
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	57	58
子会社退職給付制度一部終了損	70	—
その他	—	0
特別損失合計	128	58
税金等調整前四半期純利益	1,394	1,879
法人税等	469	593
四半期純利益	925	1,286
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	925	1,286

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	925	1,286
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△56	113
退職給付に係る調整額	93	17
その他の包括利益合計	36	131
四半期包括利益	962	1,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	962	1,417
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,975	2,518	12,493	—	12,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	9,975	2,518	12,493	(—)	12,493
セグメント利益	1,531	27	1,559	—	1,559

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,735	3,063	14,798	—	14,798
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	11,735	3,063	14,798	(—)	14,798
セグメント利益	1,764	189	1,953	—	1,953

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。